

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和5年2月6日

事業所名 キッズステーションみらe

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○			
	2	職員の配置数は適切である	○		職員配置基準は順守しているが、お子様の様子によっては、個別の援助が必要な状況がある。その場合は、他職員のサポートをもらっている。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○		手すりの設置や、床材にクッション性のある材料を使用している。	床冷えがある為、対策を検討していく。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○			
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		日頃の送迎時の会話や面談等での要望についてもすぐに対応できるよう翌日には相談・検討を行っている。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		今後、検討していく。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		定期的な会議も含め、資質向上を目的とした会議を実施している。	
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○			
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○			
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		感染対策に沿って、お子様のしたい事に目を向けて活動を提供した。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○			
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○		お子様の選択による個別活動と集団活動の時間を設定し、活動している。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		タイムスケジュールや振り返り、気付いた事をスタッフ間で話し合っている。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		翌日に支援の振り返り、気付きについての共有を行っている。	
17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		ケアコラボ(ウェブ上の記録媒体)により、画像も活用し、その時の状況を記録している。		

	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○		相談支援員と保護者と一体でモニタリングが出来るよう、極力努めている。		
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	○			「地域交流の機会の提供」が実施できていません。感染症の状況を見ながら検討していく。	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		児童発達管理責任者を含め参画している。		
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○			保護者より学校のお便りを提供して頂き、送迎時間など調整している。学校とは、必要に応じて送迎時の待機場所の確保など、連絡相談している。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	/	/			現在、医療的ケアが必要なお子様が利用されていない。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○				
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	/	/			対象のお子様がいない。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		コロナ禍で研修は行っていませんが助言は頂いている。		感染症の状況に応じて研修会への参加等を検討していく。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○			感染症の流行と苦手とするお子様もいらっしゃる為、実施できていない。ご意見をもとに慎重に検討していく。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	○		子ども部会、処遇会議への参加。		
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○				
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている		○			
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約時に重要事項説明書をもとに説明を行っている。		
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		ケアコラボを活用している。必要に応じて、送迎時などでもお伝えしている。		
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○	父母の会や保護者会はないが事業計画の親子行事を通して保護者同士の連携を図る予定であったが、感染症の流行及び法人の感染対策に伴い行えていない。		保護者のご要望も聞きながら、来年度は感染対策に沿って検討していきたい。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○		契約時に重要事項説明書をもとに、苦情等の受付窓口から苦情解決責任者など説明している。苦情要望については、課内の連絡会、法人の経営会議、第三者委員会でも取り上げ、対応した結果についても評価している。		
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		毎月のみらe新聞の発行や必要に応じ、情報を伝達している。		
	35	個人情報に十分注意している	○				

	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		言葉だけのやりとりだけでは心細い御家族には書面で提示したりした。	その方の状況に合わせた配慮を引き続き行っていく。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○	今年度、法人の夏祭りなど中止となった。	感染症の状況に応じて検討していく。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○		マニュアルは策定しているが、送迎の兼ね合いで保護者が来園される機会がなく閲覧にまで至っていない。	マニュアルについてはお便り等での周知を行っていく。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		防災訓練を年2回実施している。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		四半期に1回、虐待防止に関するアンケートを取り、課内連絡会や職員会議で報告、啓発している。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○		サービス計画には記載していないが、身体拘束廃止委員会で審議し、承諾を得て実施する事としている。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		計画書に記入している。	対象お子様がいた際には、医師の指示書(診断書)に従うと共に栄養士も含め検討を行い、支援計画にも記載し適切な対応を行っていく。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		課内連絡会でヒヤリハットや事故時報告をしている。また法人内グループウェアを使用して、事業所職員にも周知している。	

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和 5年 2月 6日

事業所名 キッズステーション みらe 保護者等数(14名) 回収数 7 割合 50%

	チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	5			2		
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	4	1		2		職員の配置基準を順守しております。
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	5			2		
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	5	1		1		コロナ禍であり、更に周りに入所施設がある中で、なかなか外へ出れない事もありました。また、長期休暇においては日中は児童発達支援も行われ、午睡時間との兼ね合いも含めて活動を検討しています。職員配置に合わせて活動は随時検討していきます。
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	4	2		1		毎日のプログラムは、お子様たちからの「やりたい」を活動に入れていきます。今後、お子様たちと考える新聞等でお知らせしていけるように努めていきます。
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	2	1	3	1		交流に不安をお持ちのお子様もいらっしゃるため、今後、ご意見をお聞きしながら、他事業所の交流等を慎重に検討していきます。
保護者 への 説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	5	1		1		契約時に重要事項説明書をもとに、ご説明させて頂いております。
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	5		1	1		ご相談を受けた時は持ち帰りスタッフや上司とも検討して、ご相談に応じて行けるよう努めていきます。
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	4	2		1		ケアコラボと連絡帳を活用し、お子様の状況をお伝えしています。また必要に応じてお迎えの際にもお伝えさせて頂いております。
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	1	1	3	2		保護者のご意見もお聞きし、保護者会等の開催を検討していきたいと思っております。
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	4	1	1	1		契約時に重要事項説明書をもとに、苦情等の受付窓口から苦情解決責任者などご説明しております。苦情要望については、課内の連絡会、法人の経営会議、第三者委員会でも取り上げ、対応した結果についても評価しています。
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	5	1		1		
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	5			2		毎月のみらe新聞や必要に応じ、情報を伝達しています。
14 個人情報に十分注意しているか	5	1		1			
非常時 等の 対応	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	4		1	2		マニュアル、規程は整備されていますが、保護者へ周知する機会を設けていきます。
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	5			2		防災訓練は年2回実施しております。
満足 度	17 子どもは通所を楽しみにしているか	5	1		1		みらeで自分の居場所を見つけ、好きな遊びを楽しめるように活動プログラムや環境を整えていきます。
	18 事業所の支援に満足しているか	5	1		1		お子様との関わりの中から、出来る事を増やしていきたいと思っております。

*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的な内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。